

**【情報公開文書】**  
**観察研究の実施についてのお知らせ**

2016年8月から2020年12月の期間に京都大学医学部附属病院で胎児発育不全と診断され、出産前にMRIを撮影された患者さんへ

京都大学医学部附属病院・京都大学大学院医学研究科では、病気の診断や治療の向上を目指して、実際に治療を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下に本研究の概要を記載しますので、ご理解の程お願いいたします。

2021年7月11日

1. 研究の名称

胎児発育不全症例の妊娠転帰予測におけるMRIの有用性の検討

2. 研究の目的

胎児発育不全の重要な原因である胎盤機能不全の、MRIによる視覚評価、胎盤機能の定量化を試みます。

3. 研究期間

2021年8月6日から、2023年8月5日まで。

4. 倫理審査

本研究は、京都大学医学部附属病院 医の倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しております。

5. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座  
責任者氏名：中本裕士

6. 試料・情報の利用目的・利用方法

以下の7に記載の情報をを用いて、MRIによる胎盤機能不全の診断方法を検討します。研究結果を発表する際には、個人情報には匿名化されますので、個人が特定されることはありません。

7. 利用または提供する試料・情報の項目

京都大学医学部附属病院産産科で胎児発育不全と診断された方の妊娠中に撮像された MRI を用います。また、年齢、妊娠中 MRI の撮影日、超音波検査結果、妊娠の転帰、胎盤の病理診断を個人が特定できない形で使用します。

8. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座

責任者氏名：中本裕士

9. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座

責任者氏名：中本裕士

10. 患者さんの情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

下記の 12 の連絡先にご連絡をしていただければ、患者さんの情報使用を停止いたします。

11. 本研究に関する資料の入手・閲覧およびその方法

患者さんの個人データについては、匿名化済みです。他の患者さんの個人データを取得することはできません。研究や個人情報保護に支障がない範囲で、本実験に関する研究の資料の入手・閲覧ができますので、下記の 13 に示す連絡先にお問い合わせください。ただし、研究や個人情報保護に支障があると判断された場合は、資料の入手・閲覧ができないことがあります。

12. 研究資金・利益相反

この研究は、日本学術振興会からの科学研究費助成金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

13. 本研究に関する問い合わせ先

京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学）  
（電話 075-751-3760：樋本祐紀）  
京都大学医学部附属病院 相談支援センター  
（電話 075-751-4748, E-mail [ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp)）